



No. F2300R0016-001
2024 年 2 月 21 日

株式会社 善管 様

食品衛生法に基づく登録検査機関
一般財団法人 広島県環境保健協会
理事長 佐藤 均
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
TEL (082)293-1517

試験検査結果報告書

2023 年 6 月 7 日に当協会に依頼された試験検査結果は別紙のとおりです。

1. 目的

検体「ABS-ZC」の液体浸漬下におけるレジオネラ属菌の菌数を継時的に確認することで、本検体のレジオネラ属菌に対する抗菌作用を評価する。

2. 試験の概要

本検体 1 枚ないし 3 枚を、 10^5 オーダー CFU/mL に調整した懸濁液 50 mL に浸漬し、 30°C で 24 時間及び 48 時間静置した。この懸濁液を BCYE α 寒天培地(島津ダイアグノスティクス製)に塗抹し、 30°C で 7 日間培養し、生じたコロニー数を計測した。

なお、試験は $n=3$ で実施した。

3. 試験検体

ABS-ZC (銅を中心とした合金)

4. 使用菌株

Legionella pneumophila ATCC33152

5. 試験結果

菌数測定結果を表 1, 表 2 に示す。

表 1 *L. pneumophila* CFU/mL (検体 1 枚浸漬時)

	初発菌量(CFU/mL)	24 時間後(CFU/mL)	48 時間後(CFU/mL)
検体①	2.1×10^5	不検出	不検出
検体②	2.1×10^5	不検出	不検出
検体③	2.1×10^5	不検出	不検出
対 照	2.1×10^5	1.5×10^5	7.9×10^4



別 紙

No. F2300R0016-001

表 2 *L. pneumophila* CFU/mL(検体 3 枚浸漬時)

	初発菌量 (CFU/mL)	24 時間後 (CFU/mL)	48 時間後 (CFU/mL)
検体①	2.1×10^5	不検出	不検出
検体②	2.1×10^5	不検出	不検出
検体③	2.1×10^5	不検出	不検出
対 照	2.1×10^5	1.5×10^5	7.9×10^4

L. pneumophila は全ての条件で検出されなかった。このことから、本検体はレジオネラ属菌 (*L. pneumophila*) に対し、抗菌作用があることが示唆された。